

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数				
教科名	国語		科目名	論理国語			第 1 学期	4 月 ～ 5 月	1										2	5					
単位数	3	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →			●									6 月 ～ 7 月	3	4	7				
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																									
① 新論理国語（三省堂） ② 新論理国語 学習課題ノート（三省堂） ③ 常用漢字ダブルクリア（尚文出版）																									
学 習 の 重 点 目 標																									
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																									
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施																
評 価 の 基 準																									
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。				探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
				振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																						85			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	論理国語														
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →			●						第 1 学期	4月 ～ 5月	第一部 一. 論理国語へのいざない 『論理力と思考力』 二. 「情報社会」を生きるⅠ 『ぬくみ』 【中間考査】	5 5 1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		
① 教科書：精選 論理国語（三省堂） ② 問題集：精選 論理国語 学習課題ノート（三省堂） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④ 参考書：新訂版常用国語便覧（浜島書店）																		
学 習 の 重 点 目 標																		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書で学習した内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 副教材、授業の内容を中心に小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施			第一部 三. 環境問題を考える 『世代間倫理としての環境倫理学』 五. 生命について考える 『病と科学』 【期末考査】								
評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）												
				B＋	B－													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。			第七. 科学技術と人間 『AⅠ時代の「人間」』 八. 「市民社会」について考える 「市民」のイメージ									
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。		応用的な文章の読み取りにあまり取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。			第一部 七. 科学技術と人間 『「なぜ」に答えられない科学』 【期末考査】									
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																	92	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
教科名	国語			科目名	論理国語					D	学	進	文	理	文	理	護		第 1 学期	4月 ～ 5月		弱いつながり	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●				6月 ～ 7月	〔逆説〕 手の変幻	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
① 教科書：論理国語（数研出版） ② 問題集：論理国語 学習課題ノート（数研出版） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															</

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	論理国語															
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●		第1学期	4月 ～ 5月	弱いつながり 〔逆説〕 手の変幻 【中間考査】	5 1
教科書・副教材・（発行所）																			
① 教科書：論理国語（数研出版） ② 問題集：論理国語 学習課題ノート（数研出版） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施												
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）													
				B＋	B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。													
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。			自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																90			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	文学国語																		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●							第1学期	4月 ～ 5月	1 随想・評論（一）想像と共感 飛ぶことを知っている魂 梨木香歩	7
教科書・副教材・（発行所）																						
① 教科書：文学国語（大修館：文国704） ② 問題集：文学国語 学習ノート（文国 704準拠） ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
①文章の内容、構成、展開。描写などをとらえ、解釈できる読解力をつける。 ②他作品などと比較して読解し、文体の特徴や効果を考えたり、解釈を深めたりできるようにする。 ③解釈を他者と共有し、解釈の多様性について考える力をつけ、ものの見方、考え方、感じ方を深める。 ④体験に基づき、構成、表現などを工夫して、文学的文章を書く力を養う。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	国語一般常識や文章の読解力を、小テストと定期考査で評価する。				考えたことを的確に表現できる力を、授業中の問いに対する解答やレポート・感想文作成、話し合いの様子等で評価する。				自ら進んで学習に取り組み、向上し続けようとする意欲を、授業中の態度や提出物、学期ごとの振り返りで評価する。													
評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動で、自分の考えを他者に伝える適切な表現で述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動で、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動で、あまり自分の考えを表現することができていない。													
	文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で他者によく伝えるよう的確に表現することができている。				文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等である程度伝えるように表現することができている。				文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で表現することがあまりできていない。													
主体性・態度	学習に主体的に取り組み、積極的に発言したり、提出物を期限内に出したりすることができている。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																		63				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	文学国語			単位 数	2	学科										普通科	学年	
教科書・副教材・（発行所）																		第 1 学期	6 月 ～ 7 月	文学の扉 第一章 「鍋セット」 角田光代	10
① 文学国語（数研出版） ② 文学国語 準拠ワーク（数研出版） ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																		第 1 学期	6 月 ～ 7 月	★中間 ★期末 ★期末	1
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学期	8 月 ～ 9 月	詩歌 「小諸なる古城のほとり」 島崎藤村 他 「三月の風」 阿部昭 ★中間 ★中間 ★中間	6 8 1					
評価の趣旨	①定期 教科書・副教材の内容を中心 に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字に ついての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題 プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め 意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価 や振り返りを実施								第 2 学期	8 月 ～ 9 月	★中間 ★中間 ★中間	6 8 1	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）		第 2 学期	10 月 ～ 11 月	「山椒魚」 井伏鱒二 「こころ」 夏目漱石 ★期末 ★期末 ★期末	8 5 1									
知・技	定期考査と小テストの合計得点 が 8 0 点以上であり、基本から 応用まで概ね理解することがで きている。				定期考査と小テ ストの合計得点 が 5 5 ～ 7 9 点 である。		定期考査と小テ ストの合計得点 が 3 0 ～ 5 4 点 である。						第 2 学期	10 月 ～ 11 月	★期末 ★期末 ★期末	8 5 1					
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に 積極的に取り組み、自分の考え を発表したり、適切に表現する ことができる。				探究的な課題やグループ活動に 取り組み、ある程度自分の考え を述べたり、表現することがで きている。		探究的な課題やグループ活動に あまり取り組むことができてい ない。		第 3 学期	12 月 ～ 1 月	「こころ」 夏目漱石	8									
	応用的な問題にも計画的に取り 組み、論理的な思考力や的確な 判断力を身に付けることができ ている。				応用的な問題に取り組み、ある 程度の思考力や判断力が身につ いてきている。		応用的な問題にあまり取り組む ことができていない。						第 3 学期	12 月 ～ 1 月	「こころ」 夏目漱石	8					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習 に取り組む、グループ活動にお いても積極的に発言することが できる。				真面目に学習に取り組んではい るが、もう少し積極性を要する 部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に 取り組めていない。		第 3 学期	2 月 ～ 3 月	「こころ」 夏目漱石 ★期末 ★期末 ★期末	6 1									
	振り返るべき内容を的確に捉え て表現することができ、次の取 り組みに活かすことができている。				振り返るべき内容を表現するこ とはできているが、次の取り組 みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考え ることができていない。						第 3 学期	2 月 ～ 3 月	★期末 ★期末 ★期末	6 1					
総 時 間 数																		61			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	古典探究											第 1 学期	学 期			
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →		●								第 1 学期	4 月 ～ 5 月	古典編Ⅰ部 1. 説話に親しむ 『十訓抄一大江山の歌一』	9
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															6 月 ～ 7 月		【中間考査】	1	
① 教科書：新編古典探究（東京書籍） ② 問題集：新編古典探究 学習課題ノート（東京書籍） ③ ④																	漢文編Ⅰ部 2. 随筆を読む 『丹波に出雲といふ所あり』	6	
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学期	8 月 ～ 9 月	古典編Ⅰ部 3. 作り物語を読む 『竹取物語一天の羽衣一』 漢文編Ⅰ部 3. 史記を読む 『項羽と劉邦一鴻門之会一』 【中間考査】	6 6 1						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				10 月 ～ 11 月	漢文編Ⅰ部 3. 史記を読む 『項羽と劉邦一鴻門之会一』 古典編Ⅰ部 4. 百人一首の世界 【期末考査】	6 7 1						
評 価 の 基 準															第 3 学期	12 月 ～ 1 月	古典編Ⅰ部 5. 日記を読む 『土佐日記一馬のはなむけ一』	7	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			2 月 ～ 3 月	漢文編Ⅰ部 4. 中国の知恵 『寓話五編一塞翁馬一』 【期末考査】	6 1								
				B＋	B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、自分の言葉で表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現したりすることができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができず、自分の考えを持ったり自分の言葉で表現したりする様子がほとんど感じられな												
	文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			文章の読み取りほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。												
主体性・態度	予習・復習するなど、粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容を考えることができていない。												
総 時 間 数															61				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語			科目名	古典探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期				
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●					4月		4	
教科書・副教材・（発行所）																			学 期			
①教科書：精選古典探究（大修館書店）										②問題集：精選古典探究 学習ノート（大修館書店）												
③参考書：大学入試新古文単語336（文英堂）										④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版）												
⑤参考書：必携新明説漢文（尚文出版）										⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）												
学 習 の 重 点 目 標																				6月		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			7月			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期									
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施					8月								
														9月								
														10月								
														11月								
評 価 の 基 準																		第3学期				
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				12月									
					B＋		B－						1月									
	知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				2月								
														3月								
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。				表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。				自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。				2月									
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。				応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。							3月						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。				3月									
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容を考えることができていない。							【期末考査】						
総 時 間 数																				80		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	国語		科目名	古典探究																
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →														
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																				
① 教科書：精選古典探究（大修館書店） ②問題集：精選古典探究 学習ノート（大修館書店） ③ 参考書：大学入試新古文単語 3 3 6（文英堂） ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）																				
学 習 の 重 点 目 標																				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																				
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施													
評 価 の 基 準																				
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）														
				B＋	B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。														
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。		応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。														
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容を考えることができていない。														
総 時 間 数																			58	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語			科目名	古典探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	説話 大江山（十訓抄） 故事 買履忘度（韓非子） 画竜点睛（歴代名画記）	6 4 4	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●	●				★中間考査	1
教科書・副教材・（発行所）																						
①教科書：高等学校 古典探究（数研出版：古探/711） ②問題集：高等学校 古典探究 準拠ワーク（数研出版） ③参考書：大学入試新古文単語336（文英堂） ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤参考書：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）																						
①古文・漢文の読解を通して、文章の内容をとらえたり、文章を評価したり、自分の考えを深めたりできるようにする。 ②重要単語や句形、文法等の古典一般常識を身に着け、日本の伝統文化である古典作品を自分で読解できるようにする。 ③古典を鑑賞することによって、伝統的なものの見方・考え方に触れ、日本文化についての素養を身に																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度								第2学期	8月 ～ 9月	史伝 鴻門之会（史記） 剣舞	5 8 1		
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 古文単語等についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価										★期末考査			
評価の基準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）								第3学期	10月 ～ 11月	史伝 鴻門之会（史記） 頭髮上指す 歴史物語 南院の競射（大鏡）	9 8 1		
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。										★中間考査			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。								12月 ～ 1月	物語 小柴垣のもと（源氏物語）	8			
	応用的な問題にも意欲的に取り組み、初見の古典を読解する能力を身に付けることができています。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								2月 ～ 3月	文章 売油翁（欧陽脩）	7			
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																						82

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史		科目名	地理総合			D	学	進	文	進	理	文	理	護	第1学期	4月～5月	第2編 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ1 自然環境と生活文化 テーマ①地形と生活文化	8
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●	●						5月	テーマ②気候と生活文化 ★中間考査	1
教科書・副教材・（発行所）															6月～7月		6月～7月	テーマ②気候と生活文化 グループ2 テーマ①東アジア	10
①教科書：地理総合(実教出版) ②地図帳：新高等地図(東京書籍) ③ ④																	★期末考査	1	
学 習 の 重 点 目 標																	地理的事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域・地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。また、地理的事象の意味や意義、相互の関連を自然環境や地域に着目して、多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養う。		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度								第2学期	8月～9月	テーマ①東アジア グループ3 テーマ②西アジア・北アフリカ	13	
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業中に学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 定期的に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ノート、授業プリントなど ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施									★中間考査	1		
	評 価 の 基 準															10月～11月	グループ4 テーマ①ヨーロッパ グループ5 テーマ①北アメリカ ★期末考査	14	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）								第3学期		12月～1月	グループ5 テーマ①北アメリカ 第2章 地球的課題と国際協力	16	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								★期末考査	1		
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。								2月～3月	第2章 地球的課題と国際協力 ★期末考査	1		
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								総 時 間 数	66			
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	地理総合											第 1 学期	4月 ～ 5月	第2編 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ1 自然環境と生活文化 テーマ①地形と生活文化 テーマ②気候と生活文化 ★中間考査	8 1
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●					第 1 学期	6月 ～ 7月	テーマ②気候と生活文化 グループ2 テーマ①東アジア ★期末考査	10 1
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：地理総合(実教出版) ② 地図帳：新高等地図(東京書籍) ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
地理的事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域・地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。また、地理的事象の意味や意義、相互の関連を自然環境や地域に着目して、多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養う。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業中に学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 定期的に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ノート、授業プリントなど ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施											
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)												
				B +		B -												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
															第 2 学期	8月 ～ 9月	テーマ①東アジア グループ3 テーマ②西アジア・北アフリカ ★中間考査	13 1
															学 期	10月 ～ 11月	グループ4 テーマ①ヨーロッパ グループ5 テーマ①北アメリカ ★期末考査	14 1
															第 3 学期	12月 ～ 1月	グループ5 テーマ①北アメリカ 第2章 地球的課題と国際協力	16
																2月 ～ 3月	第2章 地球的課題と国際協力 ★期末考査	1
															総 時 間 数		66	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史			科目名	世界史探究					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	4月 ～ 5月		第1章 文明の成立と古代文明の特質
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●									第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	5	
教科書・副教材・（発行所）																		第1学期		5月 ～ 6月	中間考査	1
① 高校世界史（山川出版社） ② ③ ④																			第1学期	6月 ～ 7月	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	5 5 2
学 習 の 重 点 目 標																				第1学期	7月	期末考査
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第2学期			8月 ～ 9月	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄
評価の趣旨																			第2学期		9月	中間考査
評 価 の 基 準																				第2学期	10月 ～ 11月	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と環大西洋革命
知・技																		第2学期			11月	期末考査
思・判・表																			第3学期		12月 ～ 1月	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺
主体性・態度																				第3学期	2月 ～ 3月	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査
総 時 間 数																		第3学期			3月	期末考査
総 時 間 数																			第3学期		3月	期末考査
総 時 間 数																				第3学期	3月	期末考査

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史			科目名	世界史探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	第1章 文明の成立と古代文明の特質	5	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●					第2学期			6月 ～ 7月	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	6
教科書・副教材・（発行所）																					中間考査	1
① 世界史探求 詳説世界史（山川出版社） ② NEW・STAGE 世界史詳覧（浜島書店） ③ 詳説世界史 整理ノート（山川出版社） ④																		第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	4			
学 習 の 重 点 目 標																	第3学期	8月 ～ 9月	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	11		
世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようなにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。																			期末考査	1		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	10								
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。				提出課題・ノート検査で判断する。				授業への意欲と受講態度を評価。				第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	9								
															中間考査	1						
評 価 の 基 準																	第4学期	10月 ～ 11月	第7章 ヨーロッパ世界の展開とモンゴル帝国	10		
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況） <td rowspan="2">第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</td> <td rowspan="2">7</td>				第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	7								
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。				定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。						定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				期末考査	1		
													第9章 大交易・大交流の時代	7								
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第10章 アジアの諸帝国の繁栄	5								
															第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	13						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				期末考査	1								
													総 時 間 数				92					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史			科目名	世界史探究					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	4月		5月
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●				第2学期	6月	7月
教科書・副教材・（発行所）																		第3学期			8月	9月
① 世界史探求 詳説世界史（山川出版社） ② NEW・STAGE 世界史詳覧（浜島書店） ③ 詳説世界史 整理ノート（山川出版社） ④																			10月		11月	
学 習 の 重 点 目 標																			12月	1月		
世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようなにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。																		2月	3月			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度					総 時 間 数		93						
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。				提出課題・ノート検査で判断する。				授業への意欲と受講態度を評価。					第1学期		4月	5月					
														第2学期		6月	7月					
評 価 の 基 準																		第3学期		8月	9月	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					第4学期		10月	11月					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。				定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。					第5学期		12月	1月					
														第6学期		2月	3月					
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第7学期		4月	5月					
														第8学期		6月	7月					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					第9学期		8月	9月					
														第10学期		10月	11月					
振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。																		第11学期		12月	1月	
振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。																		第12学期		2月	3月	
振り返るべき内容をあまり考え																		第13学期		4月	5月	
することができている。																		第14学期		6月	7月	
することができている。																		第15学期		8月	9月	
することができている。																		第16学期		10月	11月	
することができている。																		第17学期		12月	1月	
することができている。																		第18学期		2月	3月	
することができている。																		第19学期		4月	5月	
することができている。																		第20学期		6月	7月	
することができている。																		第21学期		8月	9月	
することができている。																		第22学期		10月	11月	
することができている。																		第23学期		12月	1月	
することができている。																		第24学期		2月	3月	
することができている。																		第25学期		4月	5月	
することができている。																		第26学期		6月	7月	
することができている。																		第27学期		8月	9月	
することができている。																		第28学期		10月	11月	
することができている。																		第29学期		12月	1月	
することができている。																		第30学期		2月	3月	
することができている。																		第31学期		4月	5月	
することができている。																		第32学期		6月	7月	
することができている。																		第33学期		8月	9月	
することができている。																		第34学期		10月	11月	
することができている。																		第35学期		12月	1月	
することができている。																		第36学期		2月	3月	
することができている。																		第37学期		4月	5月	
することができている。																		第38学期		6月	7月	
することができている。																		第39学期		8月	9月	
することができている。																		第40学期		10月	11月	
することができている。																		第41学期		12月	1月	
することができている。																		第42学期		2月	3月	
することができている。																		第43学期		4月	5月	
することができている。																		第44学期		6月	7月	
することができている。																		第45学期		8月	9月	
することができている。																		第46学期		10月	11月	
することができている。																		第47学期		12月	1月	
することができている。																		第48学期		2月	3月	
することができている。																		第49学期		4月	5月	
することができている。																		第50学期		6月	7月	
することができている。																		第51学期		8月	9月	
することができている。																		第52学期		10月	11月	
することができている。																		第53学期		12月	1月	
することができている。																		第54学期		2月	3月	
することができている。																		第55学期		4月	5月	
することができている。																		第56学期		6月	7月	
することができている。																		第57学期		8月	9月	
することができている。																		第58学期		10月	11月	
することができている。																		第59学期		12月	1月	
することができている。																		第60学期		2月	3月	
することができている。																		第61学期		4月	5月	
することができている。																		第62学期		6月	7月	
することができている。																		第63学期		8月	9月	
することができている。																		第64学期		10月	11月	
することができている。																		第65学期		12月	1月	
することができている。																		第66学期		2月	3月	
することができている。																		第67学期		4月	5月	
することができている。																		第68学期		6月	7月	
することができている。																		第69学期		8月	9月	
することができている。																		第70学期		10月	11月	
することができている。																		第71学期		12月	1月	
することができている。																		第72学期		2月	3月	
することができている。																		第73学期		4月	5月	
することができている。																		第74学期		6月	7月	
することができている。																		第75学期		8月	9月	
することができている。																		第76学期		10月	11月	
することができている。																		第77学期		12月	1月	
することができている。																		第78学期		2月	3月	
することができている。																		第79学期		4月	5月	
することができている。																		第80学期		6月	7月	
することができている。																		第81学期		8月	9月	
することができている。																		第82学期		10月	11月	
することができている。																		第83学期		12月	1月	
することができている。																		第84学期		2月	3月	
することができている。																		第85学期		4月	5月	
することができている。																		第86学期		6月	7月	
することができている。																		第87学期		8月	9月	
することができている。																		第88学期		10月	11月	
することができている。																		第89学期		12月	1月	
することができている。																		第90学期		2月	3月	
することができている。																		第91学期		4月	5月	
することができている。																		第92学期		6月	7月	
することができている。																		第93学期		8月	9月	
することができている。																		第94学期		10月	11月	
することができている。																		第95学期		12月	1月	
することができている。																		第96学期		2月	3月	
することができている。																		第97学期		4月	5月	
することができている。																		第98学期		6月	7月	
することができている。																		第99学期		8月	9月	
することができている。																		第100学期		10月	11月	
することができている。																		第101学期		12月	1月	
することができている。																		第102学期		2月	3月	
することができている。																		第103学期		4月	5月	
することができている。																		第104学期		6月	7月	
することができている。																		第105学期		8月	9月	
することができている。																		第106学期		10月	11月	
することができている。																		第107学期		12月	1月	
することができている。																		第108学期		2月	3月	
することができている。																		第109学期		4月	5月	
することができている。																		第110学期		6月	7月	
することができている。																		第111学期		8月	9月	
することができている。																		第112学期		10月	11月	
することができている。																		第113学期		12月	1月	
することができている。																		第114学期		2月	3月	
することができている。																		第115学期		4月	5月	
することができている。																		第116学期		6月	7月	
することができている。																		第117学期		8月	9月	
することができている。																		第118学期		10月	11月	
することができている。																		第119学期		12月	1月	
することができている。																		第120学期		2月	3月	
することができている。																		第121学期		4月	5月	
することができている。																		第122学期		6月	7月	
することができている。																		第123学期		8月	9月	
することができている。																		第124学期		10月	11月	
することができている。																		第125学期		12月	1月	
することができている。																		第126学期		2月	3月	
することができている。																		第127学期		4月	5月	
することができている。																		第128学期		6月	7月	
することができている。																		第129学期		8月	9月	
することができている。																		第130学期		10月	11月	
することができている。																		第131学期		12月	1月	
することができている。																		第132学期		2月	3月	
することができている。																		第133学期		4月	5月	
することができている。																		第134学期		6月	7月	
することができている。																		第135学期		8月	9月	
することができている。																		第136学期		10月	11月	
することができている。																		第137学期		12月	1月	
することができている。																		第138学期		2月	3月	
することができている。																		第139学期		4月	5月	
することができている。																		第140学期		6月	7月	
することができている。																		第141学期		8月	9月	
することができている。																		第142学期		10月	11月	
することができている。																		第143学期		12月	1月	
することができている。																		第144学期		2月	3月	
することができている。																		第145学期		4月	5月	
することができている。																		第146学期		6月	7月	
することができている。																		第147学期		8月	9月	
することができている。																		第148学期		10月	11月	
することができている。																		第149学期		12月	1月	
することができている。																		第150学期		2月	3月	
することができている。																		第151学期		4月	5月	
することができている。																		第152学期		6月	7月	
することができている。																		第153学期		8月	9月	
することができている。																		第154学期		10月	11月	
することができている。																		第155学期		12月	1月	
することができている。																		第156学期		2月	3月	
することができている。																		第157学期		4月	5月	
することができている。																		第158学期		6月	7月	
することができている。																		第159学期		8月	9月	
することができている。																		第160学期		10月	11月	
することができている。																		第161学期		12月	1月	
することができている。																		第162学期		2月	3月	
することができている。																		第163学期		4月	5月	
することができている。																		第164学期		6月	7月	
することができている。																		第165学期		8月	9月	
することができている。																		第166学期		10月	11月	
することができている。																		第167学期		12月	1月	
することができている。																		第168学期		2月	3月	
することができている。																		第169学期		4月	5月	
することができている。																		第170学期		6月	7月	
することができている。																		第171学期		8月	9月	
することができている。																		第172学期		10月	11月	
することができている。																		第173学期		12月	1月	
することができている。																		第174学期		2月	3月	
することができている。																		第175学期		4月	5月	
することができている。																		第176学期		6月	7月	
することができている。																		第177学期		8月	9月	
することができている。																		第178学期		10月	11月	
することができている。																		第179学期		12月	1月	
することができている。																		第180学期		2月	3月	
することができている。																		第181学期		4月	5月	
することができている。																		第182学期		6月	7月	
することができている。																		第183学期		8月	9月	
することができている。																		第184学期		10月	11月	
することができている。																		第185学期		12月	1月	
することができている。																		第186学期		2月	3月	
することができている。																		第187学期		4月	5月	
することができている。																		第188学期		6月	7月	
することができている。																		第189学期		8月	9月	
することができている。																		第190学期		10月	11月	
することができている。																		第191学期		12月	1月	
することができている。																		第192学期		2月	3月	
することができている。																		第193学期		4月	5月	
することができている。																		第194学期		6月	7月	
することができている。																		第195学期		8月	9月	
することができている。																		第196学期		10月	11月	
することができている。																		第197学期		12月	1月	
することができている。																		第198学期		2月	3月	
することができている。																		第199学期		4月	5月	
することができている。																		第200学期		6月	7月	
することができている。																		第201学期		8月	9月	
することができている。																		第202学期		10月	11月	
することができている。																		第203学期		12月	1月	
することができている。																		第204学期		2月	3月	
することができている。																		第205学期		4月	5月	
することができている。																		第206学期		6月	7月	
することができている。																		第207学期		8月	9月	
することができている。																		第208学期		10月	11月	
することができている。																		第209学期		12月	1月	
することができている。																		第210学期		2月	3月	
することができている。																		第211学期		4月	5月	
することができている。																		第212学期		6月	7月	
することができている。																		第213学期		8月	9月	
することができている。																		第214学期		10月	11月	
することができている。																		第215学期		12月	1月	
することができている。																		第216学期		2月	3月	
することができている。																		第217学期		4月	5月	
することができている。																		第218学期		6月	7月	
することができている。																		第219学期		8月	9月	
することができている。																		第220学期		10月	11月	
することができている。																		第221学期		12月	1月	
することができている。																		第222学期		2月	3月	
することができている。																		第223学期		4月	5月	
することができている。																		第224学期		6月	7月	
することができている。																		第225学期		8月	9月	
することができている。																		第226学期		10月	11月	
することができている。																		第227学期		12月	1月	
することができている。																		第228学期		2月	3月	
することができている。																		第229学期		4月	5月	
することができている。																		第230学期		6月	7月	
することができている。																		第231学期		8月	9月	
することができている。																		第232学期		10月	11月	
することができている。																		第233学期		12月	1月	
することができている。																		第234学期		2月	3月	
することができている。																		第235学期		4月	5月	
することができている。																		第236学期		6月	7月	
することができている。																		第237学期		8月	9月	
することができている。																		第238学期		10月	11月	
することができている。																		第239学期		12月	1月	
することができている。																		第240学期		2月	3月	
することができている。																		第241学期		4月	5月	
することができている。																		第242学期		6月	7月	
することができている。																		第243学期		8月	9月	
することができている。																		第244学期		10月	11月	
することができている。																		第245学期		12月	1月	
することができている。																		第246学期		2月	3月	
することができている。																		第247学期		4月	5月	
することができている。																		第248学期		6月	7月	
することができている。																		第249学期		8月	9月	
することができている。																		第250学期		10月	11月	
することができている。																		第251学期		12月	1月	
することができている。																		第252学期		2月	3月	
することができている。																		第253学期		4月	5月	
することができている。																		第254学期		6月	7月	
することができている。																		第255学期		8月	9月	
することができている。																		第256学期		10月	11月	
することができている。																		第257学期		12月	1月	
することができている。																		第258学期		2月	3月	
することができている。																		第259学期		4月	5月	
することができている。																		第260学期		6月	7月	
することができている。																		第261学期		8月	9月	
することができている。																		第262学期		10月	11月	
することができている。																		第263学期		12月	1月	
することができている。																		第264学期				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史			科目名	日本史探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	第1章 日本文化のあけぼの	3 3 2 3 1
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●							1. 日本文化の始まり				
教科書・副教材・(発行所)																	2. 農耕の開始				
① 日本史探究 高校日本史 (山川出版社)																	第2学期	6月 7月	第2章 古墳とヤマト政権	4 4 4 3 1	
②																			1. 古墳文化の展開		
③																			2. 飛鳥の朝廷		
④																	◎中間考查				
学 習 の 重 点 目 標																	第2学期	8月 9月	第3章 律令国家の形成	5 5 4 1	
①日本史の楽しさに触れ、歴史上の出来事・人物などに興味を持たせ、苦手意識をなくすように学習させる。																			1. 律令国家への道 2. 平城京の時代		
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																			3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容		
																	第3学期	10月 11月	第4章 貴族政治の展開	7 5 5 1	
																			1. 摂関政治 2. 国風文化		
																			3. 荘園の発達と武士団の成長		
																	第3学期	12月 1月	◎期末考查	3 3 1	
																			第5章 院政と武士の進出		
																			1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権		
																	第3学期	2月 3月	第6章 武家政権の成立	5 5 4 1	
																			1. 鎌倉幕府の成立と展開 2. モンゴル襲来と幕府の衰		
																			3. 鎌倉文化		
																	第3学期	3月 4月	第7章 武家社会の成長	4 1	
																			◎中間考查		
																			第8章 近世の幕開け		
																	第3学期	5月 6月	1. 天下人の登場 2. 豊臣政権と桃山文化	7 5 5 1	
																			第9章 幕藩体制の成立と展開		
																			1. 江戸幕府の成立 2. 江戸初期の外交と文化		
																	第3学期	7月 8月	3. 幕府の安定 4. 経済の発展 5. 元禄文化	5 5 1	
																			◎期末考查		
																			第10章 幕藩体制の動揺		
																	第3学期	9月 10月	1. 幕政の改革と宝暦・天明期の文化	3 3 3	
																			2. 江戸幕府の衰退		
																			3. 化政文化		
																	第3学期	11月 12月	第11章 近世から近代へ	3	
																			1. 開国とその影響 2. 幕府の滅亡と新政府の発足		
																	第3学期	1月 2月	第12章 近代国家の成立	3 3 4 3 1	
																			1. 明治維新		
																			2. 立憲国家の成立		
																	第3学期	3月 4月	第13章 近代国家の展開と国際関係	4 3 1	
																			1. 大陸政策の展開 2. 第1次世界大戦と日本		
																			3. ワシントン体制		
																	第3学期	5月 6月	◎期末考查	1	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3学期	1月 2月		92	
																	第3学期	3月 4月		92	
																	第3学期	5月 6月		92	
																	第3学期	7月 8月		92	
																	第3学期	9月 10月		92	
																	第3学期	11月 12月		92	
																	第3				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	日本史探究											第 1 学期	4月	第1章 日本文化のあけぼの 1. 日本文化の始まり 2. 農耕の開始 第2章 古墳とヤマト政権 1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷 ◎中間考査	2 3 3 3 1
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●						第 2 学期	5月	第3章 律令国家の形成 1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 荘園の発達と武士団の成長 ◎期末考査
教科書・副教材・（発行所）															第 3 学期		6月	第5章 院政と武士の進出 1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権 第6章 武家政権の成立 1. 鎌倉幕府の成立と展開 2. モンゴル襲来と幕府の衰 3. 鎌倉文化 第7章 武家社会の成長 ◎中間考査
学 習 の 重 点 目 標																7月	第8章 近世の幕開け 1. 天下人の登場 2. 豊臣政権と桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1. 江戸幕府の成立 2. 江戸初期の外交と文化 3. 幕府の安定 4. 経済の発展 5. 元禄文化 ◎期末考査	7 8 8 1
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 4 学期	8月	第10章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革と宝暦・天明期の文化 2. 江戸幕府の衰退 3. 化政文化 第11章 近世から近代へ 1. 開国とその影響 2. 幕府の滅亡と新政府の発足	4 4 4 4					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価				9月	第12章 近代国家の成立 1. 明治維新 2. 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開と国際関係 1. 大陸政策の展開 2. 第1次世界大戦と日本 3. ワシントン体制 ◎期末考査	6 6 6 6 1					
										10月								
評 価 の 基 準															11月			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			第 5 学期	12月							
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			B＋		B－	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				1月							
				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	2月												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。			第 6 学期	3月							
											3月							
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			総 時 間 数	104							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	日本史探究			D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月 5月 6月 7月	第Ⅰ部 第1章 1 文化の始まり	2
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●		2 農耕社会の成立			2	
教科書・副教材・（発行所）																	第Ⅰ部 第2章 1 古墳文化の展開	2
① 教科書：『詳説 日本史』（山川出版社） ② 副教材：『詳説 日本史 整理ノート』（山川出版社） ③ ④																	2 飛鳥の朝廷	2
																	第Ⅰ部 第3章 1 律令国家への道	3
																	★中間考查	
学 習 の 重 点 目 標															第2学期	8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	第Ⅰ部 第3章 2 平城京の時代	3
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																	3 律令国家の文化	2
																	4 律令国家の変容	2
																	第Ⅰ部 第4章 1 摂関政治	2
																	2 国風文化	3
																	3 地方政治の展開と武士	3
★期末考查															1			
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第3学期	2月 3月	第Ⅰ部 第5章 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	5					
	①定期考查の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施			①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施					第Ⅰ部 第6章 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会	5					
評 価 の 基 準															3 モンゴル襲来と幕府の衰退	3		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			第3学期	2月 3月	4 鎌倉文化	2						
				B＋	B－						第Ⅰ部 第7章 1 室町幕府の成立	2						
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。			第Ⅰ部 第7章 3 室町文化	3								
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			4 戦国大名の登場	3								
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。			第Ⅰ部 第8章 1 織豊政権	3								
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			2 桃山文化	3								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			第Ⅰ部 第9章 1 幕藩体制の成立	3								
総 時 間 数															2 幕藩社会の構造	2		
															★期末考查	1		
															第Ⅰ部 第9章 3 幕政の安定	3		
															4 経済の発展	2		
															5 元禄文化	3		
															第Ⅰ部 第10章 1 幕政の改革	3		
															2 宝暦・天明期の文化	3		
															3 幕府の衰退と近代への道	3		
															4 化政文化	3		
															第Ⅰ部 第11章 1 開国と幕末の動乱	3		
															2 幕府の滅亡と新政府の発足	3		
															★期末考查	1		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	公民			科目名	倫理					D	学	特	進	文	理	文	特	理	護	第1学期 	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	公民			科目名	倫理					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	4月 ～ 5月		第1章さまざまな人間の心のあり方 第2章さまざまな人生観―源流思想― 第1節古代ギリシアの思想
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●	●			6月 ～ 7月	★中間考査	1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		第2学期			第1節古代ギリシアの思想 第2節キリスト教 第3節イスラーム 第4節古代インドの思想と仏教	2 3 2 2
① 教科書：倫理（数研出版：倫理704） ② 問題集：倫理整理ノート（数研出版） ③ ④																					★期末考査	1
学 習 の 重 点 目 標																			第3学期	より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。さらに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第4学期	8月 ～ 9月	第5節中国の思想 第3章さまざまな倫理観・世界観―西洋近代思想― 第1節理性への信頼と人間の尊厳 第2節自然・科学技術と人間 第3節個人・社会と自由	5 2 1 4						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価					★中間考査	1							
														10月 ～ 11月	第4節民主社会の倫理 第5節現代思想の流れ 第6節現代社会と生き方 ★期末考査	4 5 3 1						
															評 価 の 基 準							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				2月 ～ 3月	★期末考査	1							
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				B＋		B－		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					総 時 間 数	54							
					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。															
思・判・表	探究的な課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題にあまり取り組むことができていない。				第1節古代ギリシアの思想 第2節キリスト教 第3節イスラーム 第4節古代インドの思想と仏教			2 3 2 2						
														各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	粘り強く課題に取り組み、授業中の発問に対しても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				★期末考査	1								
															振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	公民			科目名	政治・経済					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月 6月 7月	第1編 第1章 第1節①政治と法の意義と機能	1
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●							②法の支配と立憲主義			1	
教科書・副教材・(発行所)																				③基本的人権の保障と日本国憲法	1
① 高等学校 政治・経済 (第一学習社)																		④現代社会における新しい人権	1		
②																		⑤権利と義務との関係	1		
③																		⑥議会制民主主義と世界の政治体制	1		
④																		★中間考査	1		
学 習 の 重 点 目 標																		第1編 第1章 第1節⑦国会の組織と立法			
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。																		⑧内閣の機構と行政	2		
																		⑨裁判所の機能と司法制度	1		
																		第1編 第1章 第2節①地方自治制度と住民の権利			
																		②政党政治と選挙	2		
																		第1編 第1章 第3節①経済活動と市場			
																		★期末考査	1		
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 9月 10月 11月	第1編 第1章 第3節②経済主体と経済循環	7					
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価						③国民経済の大きさと経済成長	3					
															④物価と景気変動	1					
評 価 の 基 準																		第1編 第1章 第4節①財政のしくみと租税の意義	1		
																		第1編 第1章 第5節①金融のしくみとはたらき	1		
																		★中間考査	1		
																		第1編 第1章 第6節①中小企業・農業問題			
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第3学期	12月 1月	②労使関係と労働問題	3					
															③社会保障制度と福祉のあり方	3					
															第2編 第1章 第1節①国際社会の変遷						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第4学期	2月 3月	②国際法の意義	3					
															③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み	3					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。						★期末考査	1					
															第2編 第1章 第2節①日本の安全保障と国際貢献	1					
																		第2編 第1章 第3節①貿易の現状と意義	4		
																		②国民経済と国際収支	3		
																		③為替相場の変動	3		
																		④国際協調と国際経済機関の役割	3		
																		第2編 第1章 第4節①日本の国際協力			
																		第2編 第2章 2 地球環境と資源・エネルギー問題			
																		5 人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた取り組み	2		
																		★期末考査	1		
総 時 間 数																		53			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	公民			科目名	政治経済					D		学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月 ～ 5月	第1編第1章第3節 1 経済活動と市場 ★中間考査	4 1
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●					学 期		6月 ～ 7月	2 経済主体と経済循環 3 国民経済の大きさと経済成長 4 物価と景気変動 5 市場の失敗と公害・消費者問題 ★期末考査	2 2 2 3 1
教科書・副教材・（発行所）																						
① 教科書：高等学校 政治経済（第一学習社：政経706） ② ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																		第2学期	8月 ～ 9月	第4節1 財政のしくみと租税の意義 第5節1 金融のしくみとはたらき 第6節1 日本経済の変化と中小企業・農業問題 2 労使関係と労働問題 ★中間考査	3 3 4 3 1	
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。そして、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。また、学習した概念・理論を考察・選択・判断の手がかりとして、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価													
評 価 の 基 準																		学 期	10月 ～ 11月	3 社会保障制度と福祉のあり方 第2編第1章第1節1 国際社会の変遷 2 国際法の意義 3 国際機構の役割 4 国際紛争と軍縮への取り組み ★期末考査	3 2 2 3 2 1	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題にあまり取り組むことができていない。													
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。													
主体性・態度	粘り強く課題に取り組み、授業中の発問に対しても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																			57			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	公民			科目名	政治・経済					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	第1編 第1章 第1節①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 ③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界の政治体制 ★中間考査		1 1 1 1 1 1	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●					第2学期			6月 7月	第1編 第1章 第1節⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 第1編 第1章 第2節①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 第1編 第1章 第3節①経済活動と市場 ★期末考査		4 4 1
教科書・副教材・(発行所)																							
① 高等学校 政治・経済 (第一学習社) ② ③ ④																							
学 習 の 重 点 目 標																	第3学期	8月 9月 10月 11月	第1編 第1章 第3節②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 第1編 第1章 第4節①財政のしくみと租税の意義 第1編 第1章 第5節①金融のしくみとはたらき ★中間考査		6 6 1		
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。																							
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
評 価 の 基 準																	第4学期	12月 1月 2月 3月	第2編 第1章 第2節①日本の安全保障と国際貢献 第2編 第1章 第3節①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 第2編 第1章 第4節①日本の国際協力 ★期末考査		12 1		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)														
					B+		B-																
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。														
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																	54						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	数学			科目名	数学Ⅱ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	1章 複素数と方程式 1節 式の計算 整式の乗法 因数分解 二項定理 分数式 ★中間考査	7 1	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●								6月 ～ 7月	2節 複素数と2次方程式 複素数 2次方程式 解と係数の関係 ★期末考査	11 1	
教科書・副教材・(発行所)																			第2学期	8月 ～ 9月	3節 高次方程式 整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 4節 式と証明 等式の証明 不等式の証明 ★中間考査	14 1
① 高校数学Ⅱ (実教出版) ② ステップノート数学Ⅱ 新課程版 (実教出版) ③ ④																				10月 ～ 11月	2章 図形と方程式 1節 点と座標 直線上の点の座標と内分・外分 平面上の点の座標と内分・外分 2節 直線の方程式 直線の方程式 2直線の関係 ★期末考査	15 1
学 習 の 重 点 目 標																				12月 ～ 1月	3節 円の方程式 円の方程式 円と直線の関係 軌跡 4節 不等式の表す領域 円で分けられる領域 直線で分けられる領域	8
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		2月 ～ 3月	4節 連立不等式の表す領域 各種練習問題 ★期末考査	6 1		
学 習 の 重 点 目 標																		総 時 間 数			66	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ			D	学	特	進	進	特	特	看	第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	第 1 章 式と計算 第 2 節 等式・不等式の証明 不等式の証明	9		
単位数	3	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →				●							第 2 学 期	6 月 ～ 7 月	★中間考査	1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																				
① 数研出版 高等学校数学Ⅱ ② 数研出版 高等学校数学Ⅱナビゲーションノート ③ 数研出版 教科書傍用 4 プロセス 数学Ⅱ+B+C ④ 数研出版 4 プロセス 数学Ⅱ完成ノート																				
学 習 の 重 点 目 標															第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	第 2 章 複素数と方程式 第 1 節 複素数と二次方程式の解 複素数とその計算 二次方程式の解・解と係数の関係 第2節 高次方程式 剰余の定理と因数定理・高次方程式 ★期末考査	15 1		
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																				
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容の評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容の評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容の評価													
評 価 の 基 準															第 2 学 期	10 月 ～ 11 月	第 3 章 図形と方程式 第 1 節 点と直線 直線上・平面上の点・直線の方程式・2直線の関係 第 2 節 円 円の方程式・円と直線・2つの円 ★中間考査	20 1		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）														
				B＋	B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。														
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数															89					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ															
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●			第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	第1章 式と証明 (第1章の第1節までは1年次に学習済み) 第2節 等式・不等式の証明	6	
教科書・副教材・(発行所)																6 月 ～ 7 月	5 月	第2章 複素数と方程式方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 ★中間考査	6 1
①教科書：高等学校 数学Ⅱ（数研出版：数Ⅱ710） ②補助教材：高等学校 数学Ⅱ ナビゲーションノート（数研出版） ③問題集：4プロセス 数学Ⅱ+B+C（数列，統計的な推測，ベクトル）（数研出版） ④補助教材：4プロセス 数学Ⅱ 完成ノート（数研出版）																	6 月 ～ 7 月	第2章 複素数と方程式方程式 第2節 高次方程式	10
学 習 の 重 点 目 標																	7 月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 ★期末考査	10 1
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②事象を数学的に考察し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度						第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	10 月 ～ 11 月	12 月 ～ 1 月	2 月 ～ 3 月	総 時 間 数	116
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価												
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）						知・技	12 月 ～ 1 月	2 月 ～ 3 月	総 時 間 数	116			
				B+	B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	2 月 ～ 3 月	総 時 間 数	116	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			応用的な問題にも計画的に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	2 月 ～ 3 月	総 時 間 数	116	
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		振り返るべき内容をあまり考え											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができる。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考え								第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	2 月 ～ 3 月	総 時 間 数	116	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数									
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ												第1学期	4月 ～ 5月		第2学期	6月 ～ 7月	第3学期	10月 ～ 11月	第4学期	12月 ～ 1月	2月 ～ 3月	総 時 間 数	
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●	●		第1学期	第1章 式と証明・方程式 第1節 式と計算（1年次で学習済み） 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 中間検査	15 1										
教科書・副教材・（発行所）																第2学期	第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 期末検査	20 1									
① 教科書：高等学校 数学Ⅱ（数研出版） ② 副教材：4プロセス 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版） ③ 副教材：チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B＋C（数研出版） ④																	第3学期	第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 中間検査	25 1								
学 習 の 重 点 目 標																		第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 期末検査	23 1								
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。															第4学期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 期末検査 復習	32 1										
知識・技能																思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		評 価 の 基 準		A（十分満足できる状況）		B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）	
評価の趣旨																①定期検査の出来具合 検査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施		①定期検査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期検査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価		①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期検査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価		B＋		B－		定期検査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。	
																定期検査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。		定期検査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期検査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期検査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。	
知・技															探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身に付いてきている。		応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身に付いてきている。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		
															予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。		
思・判・表															予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。		
															予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。		
主体性・態度															予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。		
															予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。		
															総 時 間 数		120										

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学			科目名	数学A					D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月 ～ 5月	第1章 場合の数と確率 場合の数 集合と要素・集合の要素の個数 場合の数・順列・組み合わせ	4 4
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●									★中間考査	1	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		第1学期	6月 ～ 7月	第1章 場合の数と確率 確率 事象と確率 いろいろな事象の確率 独立な思考とその確率 反復試行とその確率・期待値	2 2 3 2 1
① 実教出版 数学A ② 実教出版 ステップノート 数学A ③ ④																				★期末考査	1
学 習 の 重 点 目 標																		第2学期	8月 ～ 9月	第2章 図形の性質 三角形の性質 三角形の角・線分の比 三角形の外心・内心・重心	6 7
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																				★中間考査	1
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	10月 ～ 11月	第2章 図形の性質 円の性質 円周角・円と四角形 円の接線・方べきの定理・2つの円 空間図形	3 6 4					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価						★期末考査						
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第3学期	12月 ～ 1月	第3章 数学と人間の活動 数と人間 数の歴史 二進法とコンピュータ 整数の性質とユークリッドの互除法	3 3 3					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						★期末考査						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	2月 ～ 3月	図形と人間 図形と人間 相似と測定 座標の考え方	1 1 1					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。						★期末考査	1					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。				総 時 間 数		59						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学			科目名	数学B					D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月 ～ 5月	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	6
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●						★中間考査	1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																					
① 教 科 書：高等学校 数学B（数研出版：数B711） ② 補助教材：高等学校 数学B ナビゲーションノート（数研出版） ③ 問 題 集：4プロセス 数学Ⅱ＋B＋C（数列，統計的な推測，ベクトル）（数研出版） ④ 補助教材：4プロセス 数学B 完成ノート（数研出版）																					
学 習 の 重 点 目 標																					
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	8 5 1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 問題は問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③グループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートやノートの提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	10月 ～ 11月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	10 1					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第3学期 <td rowspan="2">12月 ～ 1月</td> <td>第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測</td> <td>10</td>	12月 ～ 1月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測	10				
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期	2月 ～ 3月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測	5					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						★期末考査	1					
総 時 間 数																		60			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学			科目名	数学B					D	学	特	進	文	理	文	理		護		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●	●		第1学期	第1章 数列 (第1節 等差数列と等比数列) (第2節 いろいろな数列)	8
教科書・副教材・(発行所)																					
①教科書：高等学校 数学B (数研出版) ②問題集：4プロセスⅡ+B+C (数研出版) ③参考書：チャート式 基礎からの数学Ⅱ、B+C (数研出版) ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																					
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
	評 価 の 基 準																				
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)														
				B+			B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																		80			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	理科			科目名	物理					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月		10		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●	●							1月 2月		1		
教科書・副教材・（発行所）																							
① 高等学校 物理 703 （啓林館） ② サンダイヤル ステップアップノート 物理 新訂版 （啓林館） ③ ④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
①日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察, 実験 などを行い, 物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに, 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し, 科学的な見方や考え方を養う。																							
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																							
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 9月		20							
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施					10月 11月		1							
	評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					第3学期	12月 1月		23						
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解できている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストば合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						2月 3月		1						
															B＋		B－						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。						総 時 間 数		91						
	発展的な内容も意欲的に学習し、身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。				発展的な内容も学習し、ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。				発展的な内容を学習することができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言できている。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちががない。														
	振り返るべき内容をきちんと考え、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容は考えられているが、次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				振り返るべき内容をあまり考えられていない。														
総 時 間 数																						91	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
教科名	理科			科目名	化学基礎					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	4月		5月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●						1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
教科書・副教材・（発行所）																		4月		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
① 教科書：実教出版 化学基礎 704 ② ノート：実教出版 化学基礎 エブリィノート 授業のまとめ 704 ③ 問題集：実教出版 アクセスノート化学基礎 ④																		1	2	3	4	5	★ 中間	6	7	8	9	★ 期末	10	11	12	1	2	3	4	5	★ 期末																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
学 習 の 重 点 目 標																		1	2	3	4	5	★ 中間	6	7	8	9	★ 期末	10	11	12	1	2	3	4	5	★ 期末																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
① 主体的に自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。 ② 主体的に物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																		1	2	3	4	5	★ 中間	6	7	8	9	★ 期末	10	11	12	1	2	3	4	5	★ 期末																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度					第2学期	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月</

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科			科目名	化学基礎					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	1章1節 物質の探究 1章2節 物質の構成粒子 【中間考査】	4 10 1	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●				学 期	6月 7月	2章1節 イオン結合 2章2節 共有結合と分子間力 2章3節 金属結合 2章4節 化学結合と物質 3章1節 物質量と化学反応式 【期末考査】	4 4 2 4 7 1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																						
① 化学基礎(704)・化学基礎エブリィノート・アクセスノート化学基礎・(実教出版) ② ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																	第2学期	8月 9月	3章2節 酸と塩基 3章3節 酸化還元反応 【中間考査】	12 13 1		
主体的に物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施													
	評 価 の 基 準																					
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第3学期	10月 11月								
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり, 基本から発展まで万遍なく理解することができる。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり, 基本的な知識や概念があまり理解できていない。					12月 1月								
														2月 3月 <td></td> <td></td>								
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, 自分の考えを発表したり, 適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に取り組み, ある程度自分の考えを述べたり, 表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
	発展的な内容も意欲的に学習し, 身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。				発展的な内容も学習し, ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。				発展的な内容を学習することができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む, グループ活動においても積極的に発言できている。				真面目に学習に取り組んではいるが, もう少し積極性を要する部分がある。				学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。													
	振り返るべき内容をきちんと考え, 次の取り組みにしっかり活かすことができる。				振り返るべき内容は考えられているが, 次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				振り返るべき内容をあまり考えられていない。													
総 時 間 数																	63					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科			科目名	化学基礎					D	学	特	進	文	理	護	第1学期		1章1節 物質の探究 1～3 【中間考査】 1章2節 物質の構成粒子 1～3	7 1 7	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●			学 期	4月 ～ 5月	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																		第1学期		6月 ～ 7月	2章1節 イオン結合 1～2 2章2節 共有結合と分子間力 1～2 2章3節 金属結合 1～2 【期末考査】
① 教科書：化基704「化学基礎」（実教出版） ② 副教材：化学基礎エブリィノート授業のまとめ（実教出版） ③ 副教材：アクセスノート化学基礎（実教出版） ④																			学 期	8月 ～ 9月	2章4節 化学結合と物質 1～2 3章1節 物質と化学反応式 1～4
学 習 の 重 点 目 標																		第2学期		10月 ～ 11月	【中間考査】 3章2節 酸と塩基 1～4
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養																			第2学期	12月 ～ 1月	【期末考査】 3章3節 酸化還元反応 1～4
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度					第3学期	2月 ～ 3月	3章3節 酸化還元反応 1～4 【期末考査】	10 1				
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価						学 期	総 時 間 数		86			
														評 価 の 基 準							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					知・技							
					B＋		B－								思・判・表						
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					主体性・態度							
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。						主体性・態度						
	主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題に取り組むことができていない。						主体性・態度					
主体性・態度		予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					主体性・態度						
	主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						主体性・態度					
総 時 間 数																		86			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容			時数
教科名	理科		科目名	化学基礎																		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●		第1学期	4月 5月	序章 化学と人間生活 1章 物質の構成 2章 物質と化学結合	1 8 10	
教科書・副教材・（発行所）																						
① 教科書：化基703「化学基礎academia」（実教出版） ② 副教材：エクセル化学総合版（実教出版） ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養																						
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度															
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価															
評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）																
				B＋	B－																	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。																
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。																
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																
総 時 間 数																	58					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科			科目名	化学					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月			
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●					6月 ～ 7月			
教科書・副教材・（発行所）																						
① 化学(704)・アクセスノート化学・(実教出版) ② ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																		第2学期	8月 ～ 9月			
主体的に物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施													
	評 価 の 基 準																					
		A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）												
						B＋		B－														
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり, 基本から発展まで万遍なく理解できている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストば合計得点が30点未満であり, 基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, 自分の考えを発表したり, 適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み, ある程度自分の考えを述べたり, 表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
	発展的な内容も意欲的に学習し, 身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。				発展的な内容も学習し, ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。				発展的な内容を学習することができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み, グループ活動においても積極的に発言できている。				真面目に学習に取り組んではいるが, もう少し積極性を要する部分がある。				学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがなない。													
	振り返るべき内容をきちんと考え, 次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容は考えられているが, 次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				振り返るべき内容をあまり考えられていない。													
総 時 間 数																				60		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数							
教科名	理科			科目名	化学					D	学	進	文	理	文	理	護	第 1 学期	4 月 ～ 5 月									
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →										●			6 月 ～ 7 月									
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																												
① 教科書：化学703「化学academia」（実教出版） ② 副教材：エクセル化学総合版（実教出版） ③ ④																												
学 習 の 重 点 目 標																												
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のように育成することを目指す。(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。(3)化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。																												
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																			
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 考查の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考查毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考查後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価																			
評 価 の 基 準																												
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																			
					B＋		B－																					
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。																			
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができています。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。																			
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																			
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																			
総 時 間 数																												51

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	生物基礎											第 1 学期	4 月 5 月	学 習 内 容		
単位数	3	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →	●												
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① 教科書：高校生物基礎（実教出版 生基704） ② ノート：高校生物基礎エブリィノート 授業のまとめ（実教出版 生基704） ③ 問題集：アクセスノート生物基礎 ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
①自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 ②生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。				①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。				①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。										
	評 価 の 基 準																		
		A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）									
						B＋		B－											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
総 時 間 数																			94

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科			科目名	生物					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	3編1章 体内環境と情報伝達 1～4節 3編2章 免疫のはたらき 1～3節	4 5
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●		●			【中間考査】	1	
教科書・副教材・（発行所）																					
① 生物基礎・ニューグローバル生物基礎・（東京書籍） ② 生物・ニューグローバル生物・（東京書籍） ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	1編1章 生命の起源と細胞の進化 1～3節 1編2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 1～3節	10 10					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施					10月 ～ 11月	1編2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 4～5節 1編3章 生物の系統と進化 1～4節	8 12					
														評 価 の 基 準							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	12月 ～ 1月	2編1章 細胞と物質 1～6節	21					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。					2月 ～ 3月	2編2章 代謝とエネルギー 1～4節	2					
														B＋				B－			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				【期末考査】		1						
													発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。				発展的な内容を学習することができていない。				
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む，グループ活動においても積極的に発言できている。				真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。				学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。				【期末考査】		1						
													振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				
総 時 間 数																		91			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	英語コミュニケーションⅡ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	Lesson 1 World Dance Performances	11	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●											
教科書・副教材・（発行所）																					
① VISTA English Communication Ⅱ(三省堂) ② VISTA English Communication Ⅱ WORKBOOK(三省堂) ③ 英単語ターゲット1200 ④ 英単語ターゲット1200 Workbook2																					
学 習 の 重 点 目 標																					
基本的な英単語、英文法を理解する。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。				課題や提出物の出来具合により評価する。				日常の学習態度、ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動などを評価する。												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）												
					B＋								B－								
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。								
思・判・表	課題や提出物にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。				課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。				課題や提出物にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分にできている。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。				Lesson 6 Smart Agriculture								
	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。				英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
総 時 間 数																		87			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ											第 1 学期	4 月 5 月	Lesson 1 A Swedish Girl' s Discoveries in Japan Part 1 Part 2 Part 3		
単位数	4	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →	●										第 1 学期	6 月 7 月	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins Part 1 Part 2 Part 3 Part 4
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① LANDMARK Fit English Communication Ⅱ (啓林館) ② LANDMARK Fit English Communication Ⅱ WORKBOOK (啓林館) ③ 英単語ターゲット1400 (旺文社) ④ 英単語ターゲット1400 Workbook 2,3 (旺文社)																			
学 習 の 重 点 目 標																			
基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、学んだ事項を応用しながら、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					第 2 学期		8 月 9 月		Lesson 4 Seeds for the Future Part 1 Part 2 Part 3 Part 4		6 6 6 6	
評価の趣旨	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。 授業内で取り上げた内容とワークブックから出題する。			提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。			提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。												
評 価 の 基 準																			
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)					第 3 学期		10 月 11 月		Lesson 6 Edo: A Sustainable Society Part 1 Part 2 Part 3 Part 4		6 6 7 7		
知・技				B +	B -														
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基礎を理解し、それを応用することができる。			定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。		定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。										
思・判・表	グループ活動や発表で積極的に発言でき、自分の意見をわかりやすく述べることができる。			課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。			課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。												
主体性・態度	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。			提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると考えられるとき。			提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。												
主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。			授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。			ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。													
総 時 間 数															115				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ															
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●		第1 学期	4月 ～ 5月	◎イントロダクション ◎LESSON1：A Swedish Girl's Discoveries in Japan	1 9
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																	6月 ～ 7月	☆中間考査	1
① 教科書：LANDMARK English Communication Ⅱ（啓林館） ② 問題集：LANDMARK English Communication Ⅱ ワークブック（啓林館） ③ 副教材：改訂版 必携 英単語帳 LEAP（数研出版） ④																		◎LESSON2：A Message from Emperor Penguins ◎LESSON3：Tokyo's Seven-minutes Miracle	14 6
学 習 の 重 点 目 標																		☆期末考査	1
外国語によるコミュニケーションにおいて、以下の5つの領域でそれぞれの見方・考え方を働かせる事 を目標とする。また、言語活動やそれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確 に理解したり、適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 （1）聞くこと（2）読むこと（3）話すこと〔やり取り〕（4）話すこと〔発表〕（5）書くこと																第2 学期	8月 ～ 9月	◎LESSON3：Tokyo's Seven-minutes Miracle ◎LESSON5：Language Change over Time	8 17
評価の 趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			☆中間考査	1								
	①定期考査の得点 （教科書および副教材、単語帳 の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （単語帳の内容に関して毎週 小テストを実施）			①グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する 活動を定期的に実施） ②提出物・レポート・プレゼン の内容 （単元ごとに課題を実施）			①授業中の態度・意欲 ②ペア・グループ活動の態度・ 意欲 ③提出物の状況（問題集等）												
	評 価 の 基 準																10月 ～ 11月	◎LESSON7：Letters from a Battlefield ◎LESSON8：Edo - A Sastinable Society	17 7
知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			☆期末考査	1									
				B＋	B－														
思・判・表	定期考査と小テストの合計得点 が80点以上であり、基本から 応用まで万遍なく理解すること ができている。			定期テストと小 テストの合計得 点が55～79 点である。		定期テストと小 テストの合計得 点が30～54 点である。		定期考査と小テストの合計得点 が30点未満であり、基本的な 知識や概念があまり理解できて いない。			第3 学期	12月 ～ 1月	◎LESSON8：Edo - A Sastinable Society	10					
	探究的な課題やグループ・ペア 活動に積極的に取り組み、自分 自身の考えを発表したり、適切 に表現できている。			探究的な課題やグループ・ペア 活動に取り組み、ある程度自分 自身の考えを述べたり、適切に 表現できている。		探究的な課題やグループ・ペア 活動にあまり取り組むことがで きていない。													
主体性・ 態度	日常や社会的な話題について英 語を通して十分に理解し、自分 自身の考えをしっかりとまとめ ることができている。			日常や社会的な話題について英 語を通してある程度理解し、自 分自身の考えをまとめることが できている。		日常や社会的な話題について英 語を通して理解することができ ていない。			◎LESSON10：Our Future with AI	16									
	グループ・ペア活動において相 手に配慮しながら、積極的に発 言することができる。			グループ・ペア活動において相 手への配慮はできているが、も う少し積極性を要する部分があ る。		コミュニケーションを取ること ができていない。			☆期末考査	1									
総 時 間 数																110			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	論理・表現Ⅰ					D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	Lesson 5	3	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●									Lesson 6	2	
教科書・副教材・（発行所）																	Lesson 7		4		
① BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ（数研出版）																	第1学期	4月 ～ 5月	Lesson 8	4	
② BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ レッスンブック Grammar in 21 Lessons（数研出版）																					
③																					
④																	第1学期	6月 ～ 7月	Lesson 9	5	
学 習 の 重 点 目 標																					
①英語の文構造や論理表現を理解させ、適切な文章を作ることができることを目指す。																					
②複雑な日本語の表現にとらわれず、自分が持っている語彙で表現しようとする意欲を養う。																	第2学期	8月 ～ 9月	Lesson 12	6	
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				第2学期	10月 ～ 11月	Lesson 13	6							
	英語の文構造の決まりや特徴を理解している。			自分の意思を伝える表現力を身に着けている。 それを伝えるために、文の構造や論理展開に注意しながら、適切な英語の文章を作ることができる。			書き手、読み手にも自分の意思が伝わるように、分構造や論理展開に注意しながら、英語の文章を作ろうとしている。								Lesson 14	6					
評 価 の 基 準																	第2学期	12月 ～ 1月	Lesson 15	5	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）				Lesson 16	5									
				B＋		B－							Lesson 17	5							
知・技	定期試験と小テストの合計得点が80点以上であり、学んできた事項を理解していることが見受けられるとき。			定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。		定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。				Lesson 18			5						
思・判・表	授業または提出課題の内容で、学んだ事項を適切に理解できていると見受けられ、正しく応用できているとき。			課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。			提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。				Lesson 19		7								
												Lesson 20		7							
主体性・態度	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。			提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると思受けられるとき。			提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。				Lesson 20		1								
	主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。			授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。			ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。					総 時 間 数		77							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現Ⅱ											第 1 学期	4 月 5 月	学 習 内 容	時数
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →					●	●						
教科書・副教材・（発行所）																		
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope（啓林館） ② Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope WORKBOOK（啓林館） ③ 副教材：Vision Quest 総合英語 3rd Edition ④ 副教材：SCRAMBLE Basic 英文法・語法 3rd Edition																		
学 習 の 重 点 目 標																		
「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考查の得点 （教科書および副教材の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （文法事項毎に小テストを実施）			①問題集の取り組み内容 ②グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施） ③ライティング課題の内容			①授業中の態度や意欲 ②ペア・グループ活動 ③提出物の状況											
評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）											
				B＋			B－											
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考查と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。								
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。											
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。			グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。			コミュニケーションを取ることができていない。											
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。			概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。			あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。											
															第 2 学期	8 月 9 月	Lesson 4 Is social media safe? Lesson 5 How does overusing energy affect us? Lesson 6 What are some differences? Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? ★中間考查	3 4 4 4 1
															第 3 学期	10 月 11 月	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? Lesson 8 Is Japan open enough? Lesson 9 What if you were rich? Lesson 10 How might AI affect our lives? ★期末考查	3 3 4 3 1
															第 3 学期	12 月 1 月	Lesson 10 How might AI affect our lives? Lesson 11 What is a healthy life? ★期末考查	3 3 1
															第 3 学期	2 月 3 月	Lesson 11 What is a healthy life? Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	3 3
															総 時 間 数			61

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	論理・表現Ⅱ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	Introduction	1
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●	●				Lesson 1 What is your future goal?	7
教科書・副教材・（発行所）																		第1学期	6月 7月	Lesson 2 What school events do you have?	3
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope（啓林館）																				★中間考査	1
② Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope WORKBOOK（啓林館）																				Lesson 2 What school events do you have?	4
③ 副教材：Vision Quest 総合英語 3rd Edition																				Lesson 3 Who is the best athlete?	7
④ 副教材：SCRAMBLE 英文法・語法 4th Edition																		第2学期	8月 9月	Lesson 4 Is social media safe?	4
学習の重点目標																				★期末考査	1
「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																				Lesson 4 Is social media safe?	3
																				Lesson 5 How does overusing energy affect us?	7
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	10月 11月	Lesson 6 What are some differences?	7					
	①定期考査の得点 （教科書および副教材の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （文法事項毎に小テストを実施）				①問題集の取り組み内容 ②グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施） ③ライティング課題の内容				①授業中の態度や意欲 ②ペア・グループ活動 ③提出物の状況						Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	4					
評価の基準																		第2学期	12月 1月	★中間考査	1
知・技	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	3							
					B＋				B－				Lesson 8 Is Japan open enough?	7							
思・判・表	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				Lesson 9 What if you were rich?	8							
	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。				Lesson 10 How might AI affect our lives?	3							
主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。				★期末考査	1							
	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。				グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。				コミュニケーションを取ることができていない。				Lesson 10 How might AI affect our lives?	5							
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。				概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。				あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。				Lesson 11 What is a healthy life?	7							
													★期末考査	1							
																		第3学期	2月 3月	Lesson 11 What is a healthy life?	1
																				Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	8
総 時 間 数																			94		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数			
教科名	外国語【英語】		科目名	実践英語Ⅰ											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	Lesson 1 日常会話 Lesson 2 とある人物のできごと	7			
単位数	2	学科	看護科	学年	2 年	該当するコース・科 →		●							第 1 学期	6 月 ～ 7 月	Lesson 3 Eメール・電話 Lesson 4 掲示・広告・アナウンス	10			
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）														8 月 ～ 9 月			Lesson 5 物語	14			
① Interactive 4 skills ① CEFR A2 LEVEL（旺文社） ② ③ ④																10 月 ～ 11 月	Lesson 6 社会問題 Lesson 7 環境	14			
学 習 の 重 点 目 標														第 3 学期			2 月 ～ 3 月	Lesson 10 歴史・文化	12		
外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。															総 時 間 数			60			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			評価の趣旨	第 2 学期		8 月 ～ 9 月		Lesson 5 物語	14					
	各学期毎に、原則として期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。			ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりなどを評価する。			日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。				10 月 ～ 11 月		Lesson 6 社会問題 Lesson 7 環境	14							
評 価 の 基 準														知・技	思・判・表	主体性・態度	第 3 学期	2 月 ～ 3 月	Lesson 10 歴史・文化		12
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			Lesson 8 自然 Lesson 9 科学・テクノロジー												
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。			Lesson 8 自然 Lesson 9 科学・テクノロジー												
	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。		英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。			Lesson 8 自然 Lesson 9 科学・テクノロジー												
	英作文や応用的な問題にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。			英作文や応用的な問題にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。		英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。			Lesson 8 自然 Lesson 9 科学・テクノロジー												
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			Lesson 10 歴史・文化		12										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			Lesson 10 歴史・文化		1										

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	保健体育			科目名	体育（男）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② サッカー （パス・ドリブル・シュート）	12
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●							6月 ～ 7月		サッカー （対人・ゲーム）	13	
教科書・副教材・（発行所）																					
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2023〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																		第2学期	8月 ～ 9月	スポーツテスト① 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ）	21
学 習 の 重 点 目 標																			10月 ～ 11月	バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム）	
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																		第3学期	12月 ～ 1月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム）	23
評価の趣旨																			2月 ～ 3月	体育理論	
評価の基準																		総 時 間 数		95	
</																					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	保健体育			科目名	体育（男子）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② サッカー （パス・ドリブル・シュート）	6
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●	●							6月 ～ 7月	サッカー （対人・ゲーム）	10
教科書・副教材・（発行所）																					
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2024〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	スポーツテスト① 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ）		14				
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合				①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み				①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度					10月 ～ 11月	バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム）		13				
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	12月 ～ 1月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム）		12				
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技				実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技					2月 ～ 3月	体育理論		3				
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				●期末考査		1						
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。				総 時 間 数		59						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
教科名	保健体育			科目名	体育（女子）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② ハンドボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム） ○実技試験	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●									6月 ～ 7月	ハンドボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム） ○実技試験	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2024〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
学 習 の 重 点 目 標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合				①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み				①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
評 価 の 基 準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					B＋		B－																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技				実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技				実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
●期末考査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
総 時 間 数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	保健体育		科目名	体育（女）												学 期	学 習 内 容	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →			●	●					第1 学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② ハンドボール （パス・ドリブル・シュート） ○実技試験	10
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																6月 ～ 7月	ハンドボール （対人・ゲーム） ○実技試験	13
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2024〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度											
評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）												
				B＋	B－													
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考			陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ） ○実技試験							23
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム） ○実技試験							24
	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 ●期末考査			3							1
主体性・態度											総 時 間 数							98

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	芸術		科目名	音楽Ⅱ																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●							第1学期	4月 ～ 5月	歌唱…歌唱①校歌他（ポピュラー） 器楽…リコーダー①基礎 楽典…音楽理論①	7
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																					
① MOUSAⅡ ② 音楽の研究プリント ③ ワークプリント ④ クロムブック																					
学 習 の 重 点 目 標																					
音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる応用的な資質・能力を育成する。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】				自己のイメージをを持って音楽的表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来ているか評価する。【レポート】【実技試験】				主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）												
					B＋		B－														
知・技	学習活動に必要な知識や技能が十分に身についており、高い理解力がある。				学習活動に必要な知識や技能が概ね身についている。		学習活動に必要な知識や技能がある程度身についている。		学習活動に必要な知識や技能、理解力が不足しており、試験や発表に反映できていない。												
思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができる。				演奏方法を工夫しながら知識や技術がある程度身につけることができる。				演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができていない。				第3学期								
	楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができています。				楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができています。				教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができていない。												
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。				楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。				楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。				2月 ～ 3月								
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。				楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。				楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。												
総 時 間 数																	58				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	芸術		科目名	美術Ⅱ																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●							第1 学期	4月 ～ 5月	・ミーティング 【絵画】スケッチ 【デザイン】デジタル練習 【デザイン】ポスター 【鑑賞】作品鑑賞	1 1 1 4 2
教科書・副教材・（発行所）																					
① 高校美術2（38-光村・美Ⅱ-701） ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を学び、育成することを目指す。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2 学期	8月 ～ 9月	【絵画】スケッチ 【デザイン】写真加工 【木工】木箱デザイン 【デザイン】ポートフォリオ 【鑑賞】作品鑑賞	1 3 7 2 1					
評価の趣旨	①作品の出来具合（作品完成度） ②レポートの出来具合				①作品の表現力（独創的・オリジナリティ） ②作品制作の進捗具合				①授業態度（教師の観察） ②学習意欲（制作進捗度合い） ③提出物等												
	評 価 の 基 準																				
		A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）											
					B＋		B－						第3 学期	10月 ～ 11月	【絵画】スケッチ 【デザイン】色の表現（モノクロの世界） 【デザイン】ポートフォリオ 【課題】レポート	1 5 2 1					
知・技	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができる。				基本的な知識や技術が理解できており、作品を作ることができる。		基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができる。		基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。												
思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。												
	自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができる。				自分の考えをある程度、表現することができる。				自分の考えを思い通りに表現することができていない。												
主体性・態度	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。				2月 ～ 3月	【絵画】スケッチ 【デザイン】ポートフォリオ 【課題】レポート	1 3 1						
	積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。				制作において、積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで制作に取り組めていない。												
総 時 間 数																	58				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	芸術		科目名	書道Ⅱ																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●							第1 学期	4 月 ～ 5 月	漢字の変遷と様々な書体 漢字の書（篆書）泰山刻山 （隸書）乙瑛碑 （草書）十七帖	1 4 1 2
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																					
① 高等学校芸術科書道Ⅱ（38光村、書道1704） ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の 伝統と文化と幅広く関わる資質、能力を育成することを目指す。																					
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①毎時間作品の提出によって完 成度を評価する。 ②小テストによって評価する。			①作品の独創的表現力によって 評価する。 ②作品の価値と根拠をよく考え 書の良さや美しさを味わって捉 えているか評価する			①授業中の態度 ②学習意欲 ③提出物・忘れ物等														
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）														
				B＋			B－														
知・技	作品創作の為の技能・知識を正 確に理解し十二分に身に付けて いる。			ほぼ理解し概ね 身に付けてい る。			理解しようとし ているがあまり 身に付けていな い。			理解しようとし てほとんど身に 付けていない。											
思・判・表	創造的な構想や表現が意図的に 基づいてよく工夫し表現するこ とが十二分にできている。			創造的な構想や表現が概ねでき ている。			創造的な構想や表現があまりで きていない。														
	書に対する見方、考え方捉え方 をよく考察し述べるができる。			概ね自分の見方、考え方、捉え 方を述べるができる。			書に対する見方、考え方捉え方 ができていない。														
主体性・態度	積極的に与えられた課題や作品 創作に取り組んでいる。			作品創作において、積極的に取 り組もうとしている。			作品創作に全く取り組んでいな い。														
	積極的に鑑賞の各活動に取り組 んでいる。			鑑賞の各活動に積極的に取り組 もうとしている。			鑑賞の各活動に取り組もうとし ていない。														
総 時 間 数																	58				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	家庭			科目名	家庭基礎					D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月 ～ 5月	第6章 食生活をつくる	9		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●								6月 ～ 7月	第1章 生涯を見通す	5		
教科書・副教材・（発行所）																				第2章 人生をつくる	5		
① 教科書：家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） ② ③ ④																						★期末考查	1
学 習 の 重 点 目 標																							
生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。																							
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	第3章 子どもと共に育つ 第5章 共に生き、共に支える	6 6							
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書の内容を中心に作問 ②作品または小テストの出来具合				①練習問題や課題への取組状況や記述内容を評価。 ②単元毎の探究課題レポートの内容を評価。 ③探究課題について、グループ活動状況や発表の内容及び伝え方を評価。				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント ③各単元終了後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
評 価 の 基 準																							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	10月 ～ 11月	第7章 衣生活をつくる 被服実習	10							
知・技	定期考查と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。				定期考查と作品または小テストの合計得点が55～79点である。				定期考查と作品または小テストの合計得点が30～54点である。					★期末考查	1								
																B＋	B－						
思・判・表	課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。				課題を設定し、解決策を構想することが概ねできている。				課題を設定し、解決策を構想することができていない。				12月 ～ 1月	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む	4 5								
					実践を評価・改善することが概ねできているが、考察したことについての根拠が曖昧であったり、論理的に表現することが十分とはいえない。				実践を評価・改善すること、考察したことについて根拠に基づいて論理的に表現することができていない。														
主体性・態度	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、各単元の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとしている。				課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。				2月 ～ 3月	第10章 持続可能な生活を営む	2								
	自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったか考えることはできているがうまく表現できていない。				自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったかあまり考えられない。							★期末考查	1						
総 時 間 数																		55					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	家庭			科目名	子どもの発達と保育					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月	第1章 子どもの保育		2	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●									5月	第2章 子どもの成長 1節 子どもの発達の特徴 2節 子どものからだの発達		2	
教科書・副教材・（発行所）																			第1学期	6月	3節 子どもの心の発達		5
① 教科書：保育基礎（実教出版） ② ③ ④																				7月	第4章 子どもの文化		5
学 習 の 重 点 目 標																		第2学期	8月	★期末考查		1	
保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。																			9月	子どもとかかわってみよう（保育実習）		5	
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	10月	第3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護		7						
	①定期考查の出来具合 教科書の内容を中心に作問 ②作品または小テストの出来具合				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント ③自己評価・振り返り 単元終了後に自己評価や振り返りを実施					11月	2節 生活習慣の形成 3節 健康管理と事故防止		6						
評 価 の 基 準																		第3学期	12月	5章 子どもの福祉 1節 子ども観 2節 子どもの福祉		5	
知・技	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				1月	3節 子育て支援		2							
					B＋		B－							2月	★期末考查		1						
思・判・表	定期考查と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。				定期考查と作品または小テストの合計得点が55～79点である。				定期考查と作品または小テストの合計得点が30～54点である。				3月 <td colspan="2"></td> <td></td>										
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ない。					5章 子どもの福祉 1節 子ども観 2節 子どもの福祉		5							
主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができています。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。				2月 <th colspan="2"></th> <td></td>										
	課題の解決に向けて粘り強く取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。					3月	3節 子育て支援		2						
子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組む、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。 <td colspan="2">★期末考查</td> <td>1</td>																		★期末考查		1			
子どもの発達や保育への関心を持ち、学習に取り組むことはできているが、もう少し実践的な態度を身につける余地がある。 <td colspan="2">総 時 間 数</td> <td>52</td>																		総 時 間 数		52			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	情報			科目名	情報探究Ⅰ					D	学	特	進	進	特	特	護		第 1 学期	4 月 ～ 5 月		全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 2 級 実技問題 1 ～ 1 0
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →					●									6 月 ～ 7 月	全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 2 級 実技問題 1 0 ～ 2 0	8
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		全商ビジネス文書検定 受験 全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 1 級 実技問題 1 ～ 4			8	
① 全商情報処理検定テキスト 3 級 [ビジネス情報部門] (実教出版) ② 全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 2 級 (実教出版) ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
1. パソコンを利用して、文書作成や情報処理の知識と技能の修得を目指す。 2. ビジネス文書検定 1 ～ 2 級・情報処理検定 3 級相当のスキルを身につけ、合格する。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学期	8 月 ～ 9 月	全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 1 級 実技問題 5 ～ 1 0	8						
評価の趣旨	1. 単元ごとに実技テストを実施				1. 単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る 2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る				1. 授業中の様子 2. 提出物の提出率とその内容 3. 実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容					10 月 ～ 11 月	全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 1 級 実技問題 1 1 ～ 2 0	8						
																	評 価 の 基 準					
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第 3 学期	12 月 ～ 1 月	全商ビジネス文書検定 受験 全商情報処理検定テキスト 3 級 実技問題 1 ～ 2 0 模擬問題 1 ～ 1 0 模擬試験問題	5 5						
知・技	単元ごとの実技テストを 1 0 0 点満点に換算した合計得点が 8 0 点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。				実技テストの合計得点が 5 5 ～ 7 9 点である。				実技テストの合計得点が 3 0 ～ 5 4 点である。					2 月 ～ 3 月 <th rowspan="2">PowerPointを使用して画像の編集・ポスター作成</th> <th rowspan="2">3</th>	PowerPointを使用して画像の編集・ポスター作成	3						
																	B +				B -	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					2 月 ～ 3 月	PowerPointを使用して画像の編集・ポスター作成	3						
																	実技テストの合計得点が 3 0 点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。					
主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身につけていない。					2 月 ～ 3 月	PowerPointを使用して画像の編集・ポスター作成	3						
																	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					
主体性・態度	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					2 月 ～ 3 月	PowerPointを使用して画像の編集・ポスター作成	3						
																	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					
総 時 間 数																		53				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	進学探究セミナーA											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	ガイダンス 課題設定・探究活動テーマ探し リサーチクエスチョンを考える	1 2 3
単位数	1	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →	●								第 1 学期	6 月 ～ 7 月	探究計画書作成 情報収集・データ分析	2 3
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																		
① 課題研究メソッド Z E R O ゼロから始める探究活動 ② ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につける。問題の解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組む態度を育て、自己の在り方・生き方を考えることができるようにする。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	課題の設定 課題に合った情報を計画的に集められるか 整理・分析 課題にあった分析を計画的に実施できているか まとめ・表現 表現方法のレベルが適切であるか														第 2 学期	8 月 ～ 9 月	講演会 探究計画書に基づく情報収集・データ分析	1 2
	思考・判断・表現	表現方法のレベル 解決したい課題を決めることができ、その課題解決への見通しが立てられるか 整理・分析 分析結果をふまえて自分の意見・考察が書けているか まとめ・表現 主張（課題に対する答え）は対応しているか														10 月 ～ 11 月	中間発表① 探究週間（現地調査・見学） 振り返り 進路ガイダンス まとめ	1 1 1 2
主体性・態度		課題の設定 自分の興味関心あるいは社会的な問題を課題にできているか 情報の収集 多角的な視点から資料やデータを集められているか 振り返り 取り組んできた探究の改善点、あるいは自分の興味関心を発見できているか														第 3 学期	12 月 ～ 1 月	中間発表② まとめ 3 年生と語る会
	2 月 ～ 3 月																	
総 時 間 数															24			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	就職探究セミナーA																	
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●							第1学期	4月 ～ 5月	ガイダンス 課題設定・探究活動テーマ探し リサーチクエスチョンを考える	1 2 3
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																					
① 課題研究メソッドZ E R O ゼロから始める探究活動 ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につける。問題の解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組む態度を育て、自己の在り方・生き方を考えることができるようにする。																					
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																					
知識・技能	課題の設定 課題に合った情報を計画的に集められるか 整理・分析 課題にあった分析を計画的に実施できているか まとめ・表現 表現方法のレベルが適切であるか																第2学期	8月 ～ 9月	講演会 探究計画書に基づく情報収集・データ分析	1 2	
	思考・判断・表現	表現方法のレベル 解決したい課題を決めることができ、その課題解決への見通しが立てられるか 整理・分析 分析結果をふまえて自分の意見・考察が書けているか まとめ・表現 主張（課題に対する答え）は対応しているか																10月 ～ 11月	中間発表① 探究週間（インターンシップ） 振り返り 進路ガイダンス まとめ	1 1 1 2	
主体性・態度		課題の設定 自分の興味関心あるいは社会的な問題を課題にできているか 情報の収集 多角的な視点から資料やデータを集められているか 振り返り 取り組んできた探究の改善点、あるいは自分の興味関心を発見できているか																第3学期	12月 ～ 1月	中間発表② まとめ 3年生と語る会	1 3 1
																			2月 ～ 3月		
総 時 間 数																	24				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間															
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●	●				第 1 学期	4月 ～ 5月	ガイダンス 探究テーマを考える リサーチクエスチョンを導く	1 2 2
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① 課題研究メソッド ② ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
『マイプロジェクト』を探究することをテーマとして、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。																			
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																			
知識・技能	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴や良さに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることの気付いている。														第 2 学期	8月 ～ 9月	講演会 まとめ	1 2	
	思考・判断・表現	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につけている。														10月 ～ 11月	中間発表① 探究週間（現地調査・見学） 振り返り 探究週間まとめ 進路ガイダンス	1 1 2 1	
主体性・態度		地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。 また、他者の意見を聞き入れ、考え、自他のために貢献しようとする態度が見られる。														第 3 学期	12月 ～ 1月	中間発表② 進路ガイダンス まとめ 3年生と語る会	1 1 2 1
															2月 ～ 3月		発表準備	1	
															総 時 間 数			24	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間														
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●					第1 学期	4 月 ～ 5 月	第1章：研究テーマを決めよう ○ テーマ決定の方法について知る。 ○ 研究テーマに関する知識を広げ整理する ○ 研究テーマの決定 第2章：リサーチクエスチョンを導こう ○ 「問い」の決定	1 1 1 1
教科書・副教材・（発行所）																		
① 教科書：課題研究メソッド 2nd Edition（啓林館） ② 副教材：課題研究メソッド 2nd Edition 課題研究ノート（啓林館） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。また、探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	課題研究の各段階における手法，論文の作成・執筆方法，様々なプレゼンテーション方法やその技法について，各段階での提出物の完成度や，調査・実験などの取り組みなどを見て総合的に評価する。														第2 学期	8 月 ～ 9 月	第4章：調査・実験の実施 ○ 調査・実験の実施 ○ 結果のまとめ ○ 考察・結論	3 1 1
	思考・判断・表現	自ら見つけた研究課題に向き合って解決していく過程や，まわりの人々と協力して解決の糸口を見つけていく力などについて，授業中のディスカッションや発表への参与態度や内容に加え，各段階で作成された提出物や研究論文，プレゼンテーションなども含めて総合的に判断する。														10 月 ～ 11 月	第5章：研究内容をまとめ、発表しよう ○ 研究論文の作成 ○ 研究発表の準備（スライド／ポスター）	3 3
主体性・態度		授業中の意欲や取り組む姿勢，課題への取り組み姿勢などに加え，課題研究を進めていく際のスケジュール調整力や，多方面への働きかけ方などを各段階で見て，総合的・多角的に評価する。また、長期休業中などの実験や研究論文の執筆，プレゼンテーションの準備などに取り組む姿勢も含めて評価する。														第3 学期	12 月 ～ 1 月	○ 研究発表の準備（スライド／ポスター） ○ プレゼン練習
	2 月 ～ 3 月																○ 研究発表 ○ ふりかえり	2 1
総 時 間 数															24			